



発行所 愛媛県今治市大三島町宮浦
日本総鎮守 〒794-1393

大山祇神社社務所

電 話 (0897)82-0032

F A X (0897)82-0019

<https://oomishimagu.jp/>

大 三 島 海 事 博 物 館
大 三 島 大 社 講



社号標と二の鳥居

産須奈大祭(秋祭)

十月十二日

十月十二日、産須奈大祭が盛大に執り行われた。

この祭儀は、国土安泰・五穀豊穰感謝・海上安全・民族の繁栄・産物の増産等、すべてを祈念感謝する神人一和の伝統神事である。記録によると、古代は神前に白猪や雉等を献供していたが、一遍上人により、生贄を奉ることを禁じたとある。これより、獅子の狩姿を舞に託して、獅子舞を奉納するようになった。大祭当日は島内をあげて、獅子舞やお囃子、だんじりや供奉行

列を伴い島内を練り歩く様は、島内が最も活気を呈している時期である。

大祭一週間前に島内各地域の神社で秋祭りが執り行われ、そこで獅子舞が奉仕される。各地域で奉仕した獅子舞は、この産須奈大祭にも参加奉仕する。

大祭前日から、宮浦地区の秋の祭礼が行われ、十一日早暁、宿元にて獅子宿門出祭を斎行。その後、午前六時三十分には御本社にて鎮疫宮出祭を斎行。獅子連中は二日間、上条・下条・新地の各地区の家々を舞っ

て歩いた。

十月十二日、御本社にて、出御祭を斎行。この前後に、島内各地域の獅子が神門内庭に参集し、舞を奉納した。笛や太鼓の音で祝詞が聞こえない程の賑わいを見せた。

神輿を始め、多数の供奉奉仕者を伴い、御旅所である台三島神社へ渡御、祭場祭を斎行。神事を終えると、宮浦港脇の御休処へ進み、神事を斎行。その後、御本社にて還御祭が斎行され、無事に大祭を執り納めた。

獅子連中はこの後も舞い続け、午後十時頃に神社境内にて最後の舞を奉納した。その後、鎮疫宮入祭を斎行。これを以て、令和七年の産須奈大祭は幕を下ろした。



本慣し(宮出し前日)



上条下条だんじり



新地だんじり



宮浦獅子



盛獅子



明日獅子



おしゃしゃのしゃんしゃん



宮入り前



阿奈波神社宵祭

撰社 阿奈波神社例祭・宵祭

九月二十二日（旧暦八月一日）に撰社阿奈波神社例祭を斎行。前日二十一日夜には宵祭が執り行われた。

宵祭には宮浦新地地区の氏子崇敬者らが訪れ、大いに賑わった。

平成二十八年六月に発生した阿奈波神社拝殿損壊を受け、本年も現社地对岸の御休処おやすどころにて祭典を執り行なった。

挙 式

御神前で結婚式を挙げられた皆様のご多幸とご両家の弥栄をお祈り申し上げ、ここにご芳名をご紹介します。

令和六年

十月五日

富山県 原田 陸様
富山県 藤重 南帆様

十月十五日

愛媛県 森井 晴也様
愛媛県 三角 真子様

十月十九日

東京都 式部 夏樹様
東京都 奥村 晶子様

十月二十日

愛媛県 青木 悠様
愛媛県 帽子 紗貴様

十月二十六日

兵庫県 美馬 淳兵様
兵庫県 原田 詩歩様

十一月十七日

福岡県 日高 翔様
福岡県 山本 志穂様

十一月十七日

愛媛県 武内 悠大様
愛媛県 福川 千鶴様

令和七年

三月八日

広島県 松岡 風人様
広島県 内海 舞様

八月十九日

神奈川県 河田 賢一様
神奈川県 波多野智美様

九月二十八日

愛媛県 角谷 有一様
愛媛県 黒田 飛鳥様

当社では、ご神前で行う挙式、神前結婚式を受け付けております。お申し込みをご希望の方は、当社までお問い合わせください。

挙式初穂料 十万円
お問い合わせ

大山祇神社社務所
TEL〇八九七―八二一〇〇三三
(午前九時～午後四時)

山口写真館
結婚式ページ



五穀豊穡祈願祭

夏の土用の入りにあたる七月十九日、五穀豊穡祈願祭を斎行。御本社にて神火を火縄に戴き斎田へ下向。斎田四隅に五穀成就の祈禱符を掲げ、火縄神事を行った。

この神事に用いられる火縄とは、檜の皮を柔らかく加工した【檜肌^{まきはだ}】と呼ばれるものを縄状にしたもの。夏の土用には県内各地から多くの生産者が五穀豊穡の祈願を受けられ、この火縄を持ち帰り各自田畑で点火した火縄を振り回し、その火縄の煙を以て虫除け祈願が行われる。



火縄神事

大三島大社講のご案内

大山祇神社は古くからこの大三島に鎮座し、日本総鎮守、伊豫國一宮と尊崇されてきた四国第一の古大社でございます。御祭神は大山積大神、またの名を和多志大神と申し、山岳を守護される神様であるだけでなく、五穀成就、海上安全、漁業満足、長命開運、造酒の守護神としても、広く知られております。古来、皇室を始め一般国民に至るまで崇敬が篤く、「大三島詣で」として知られ、遠近より参拝するものが絶えませんでした。そして崇敬者に満足を与え、便宜を図るため、昭和二年（一九二七）に当時の国幣大社大山祇神社の崇敬者団体として、大三島大社講は設立されました。皆様のご入講をお待ちしております。

【この講社の趣旨】

大三島大社講は大山祇神社の崇敬者を結集し、敬神崇祖の信念に基づき、至誠以て道義を高揚し神恩に奉謝し普く神人和力文明造化の真理を顕現し、大山祇神社の維持を図り次の事業を行う。

【この講社の主な事業】

- ・ 大山祇神社の神徳昂揚
- ・ 大山祇神社国宝重要文化財その他宝物保存修理

- ・ 大山祇神社祭礼神事の保存
- ・ 図書、雑誌の編集発行
- ・ 講演会の開催
- ・ 講社員募集並びに伝道
- ・ その他本講社目的達成のために必要な事業

【入講後の主な待遇】

- ・ 家内安全家業繁栄祈願祭斎行の上、大麻を奉送する。
- ・ 講社大祭並びに毎月一日祭に講社員名簿を奉奠して家内安全家業繁栄の祈願祭を斎行する。
- ・ 大山祇神社宝物館拝観優待券贈呈。
- ・ 大三島海事博物館拝観優待券贈呈。
- ・ 社報「大三島宮」を贈呈。
- ・ 大三島暦を贈呈。
- ・ 大山祇神社例大祭・講社大祭他の御案内

【ご入講の手続き】

- ・ 名誉講社員 毎年 五十口以上
 - ・ 特別講社員 毎年 五十口以上
 - ・ 正 講社員 毎年 一口以上
 - 但し、一口 金三千円也
- 入講に關しましては、当社までお問い合わせください。

大三島大社講について、こちらよりご意見等お寄せください。入講の有無にかかわらず、どなたでもご回答いただけます。



宝物館優待券



大三島暦

〒七九四-1139 三
愛媛県今治市大三島町宮浦三三二七
大山祇神社内 大 三 島 大 社 講
TEL ○八九七-八二-〇〇三二
(午前九時～午後四時)

初詣・新年祈禱のご案内

新たな年を迎えるにあたり、左記のとおり対策を施して参りますので、御理解賜りますようお願い申し上げます。

- ・混雑が予想されるため、マスクの着用は適宜ご判断ください。
- ・当社境内では、並ばずに、御参拝ください。
- ・御祈禱件数が多い場合にはお待ち頂く場合がございます。
- ・お持ちの朱印帳への押印・墨書はご遠慮頂きます。事前に墨書した朱印紙(和紙)をお渡しします。
- (書置き対応とする期間につきましては、後日ホームページにてお知らせいたします。)

尚、三が日にこだわることなく日をずらしお参りなされても結構です。また、ご遠方の方や事情によりご参拝の叶わない方には、郵送による御祈禱を受け付けております。詳細は社務所までお問い合わせください。

今後の状況により対応を変更する場合がございますので、ご参拝の際は当社ホームページを御覧ください。



並ばずにご参拝ください



新年神符

令和八年
厄年・年祝い

※数え年に表記

後 厄	本 厄	前 厄
女 性		
平成19年 20歳	平成20年 19歳	平成21年 18歳
平成5年 34歳	平成6年 33歳	平成7年 32歳
平成元年 38歳	平成2年 37歳	平成3年 36歳

後 厄	本 厄	前 厄
男 性		
平成13年 26歳	平成14年 25歳	平成15年 24歳
昭和59年 43歳	昭和60年 42歳	昭和61年 41歳
昭和40年 62歳	昭和41年 61歳	昭和42年 60歳

白 寿	卒 寿	米 寿	傘 寿	喜 寿	古 稀	還 暦
昭和3年 99歳	昭和12年 90歳	昭和14年 88歳	昭和22年 80歳	昭和25年 77歳	昭和32年 70歳	昭和41年 61歳

